

2001年9月の情報です。

7-2 一般環境地域の調査結果

単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  ただし、重金属類及びベンゾ[a]ピレンは $\text{ng}/\text{m}^3$

実施主体 物質名	横浜市		川崎市			横須賀市	平塚市
	港南区野庭 中学校	緑区三保 小学校	中原保 健所	多摩区登戸 小学校	多摩区生 田浄水場	横須賀市衣笠行 政センター	平塚市 役所
ベンゼン	2.6	2.7	2.9	2.8	—	3.2	2.6
トリクロロエチレン	1.4	1.6	2.6	1.4	—	1.2	1.9
テトラクロロエチレン	0.91	0.96	1.7	1.2	—	1.5	0.88
ジクロロメタン	3.5	3.8	5.8	4.5	—	3.6	6.2
アクリロニトリル	0.075	0.088	0.15	0.26	—	0.013	0.010
塩化ビニルモノマー	0.069	0.057	0.037	0.021	—	0.10	0.041
クロロホルム	0.17	0.18	0.30	0.22	—	0.24	0.65
1,2-ジクロロエタン	0.22	0.22	0.056	0.032	—	0.18	0.10
1,3-ブタジエン	0.35	0.34	0.57	0.52	—	0.0060	0.0040
アセトアルデヒド	3.0	2.9	4.3	3.9	—	2.6	2.2
ホルムアルデヒド	4.0	3.5	5.3	4.4	—	2.8	3.1
水銀及びその化合物	2.4	2.5	2.4	2.4	—	4.2	4.0
ニッケル化合物	7.8	7.8	5.9	—	4.0	8.9	5.5
ヒ素及びその化合物	1.6	1.8	1.9	—	1.4	2.1	2.5
ベリリウム及びその化合物	0.020	0.035	0.11	—	0.11	0.018	0.024
マンガン及びその化合物	29	39	39	—	29	29	35
クロム及びその化合物	7.3	6.9	8.9	—	8.0	4.1	6.7
ベンゾ[a]ピレン	0.53	0.76	0.67	—	0.68	0.51	0.58
酸化エチレン	0.088	0.11	0.14	0.11	—	0.011	0.12

実施主体 物質名	藤沢市	相模原市	神奈川県		一般環境年平均 均値	環境基準値等	
	藤沢市役所	相模原市役所	小田原市役所	厚木市役所		環境基準値	参考値
ベンゼン	3.0	2.5	2.1	2.8	2.7	3	
トリクロロエチレン	1.5	1.7	0.85	1.5	1.6	200	
テトラクロロエチレン	0.83	3.4	0.61	1.1	1.3	200	
ジクロロメタン	5.5	4.9	6.4	4.8	4.9	150	
アクリロニトリル	0.010	0.20	0.12	0.16	0.11		0.1[1]
塩化ビニルモノマー	0.039	0.016	0.058	0.050	0.049		10[3]
クロロホルム	0.39	0.29	0.29	0.23	0.30		0.4[1]
1,2-ジクロロエタン	0.087	0.088	0.10	0.11	0.12		0.4[1]
1,3-ブタジエン	(0.0041)	0.35	0.23	0.42	0.28		0.04[1]
アセトアルデヒド							

	2.3	3.1	2.8	4.2	3.1		5[1]
ホルムアルデヒド	2.9	5.5	3.4	4.6	3.9		0.8[1]
水銀及びその化合物	2.8	3.1	1.2	1.4	2.6		1000[2]
ニッケル化合物	4.6	4.2	4.3	7.8	6.1		26[2]
ヒ素及びその化合物	2.6	1.4	1.8	2.6	2.0		2.3[1]
ベリリウム及びその化合物	0.030	0.020	0.025	0.036	0.043		4.2[1]
マンガン及びその化合物	42	27	25	39	33		150[2]
クロム及びその化合物	6.5	4.8	4.3	6.8	6.4		0.83[1]
ベンゾ[a]ピレン	0.51	0.17	0.67	0.79	0.59		0.11[2]
酸化エチレン	0.11	0.078	0.091	0.11	0.096		—

備考

- (1) 各地点における年平均値を算出する際、検出下限値未満である測定値は検出下限値の1/2として算出した。  
(2) ( )で示した測定値は、算出した年平均値が、年間の最大検出下限値未満の数値であったもの。  
(3) 参考値(環境庁記者発表資料「平成11年度有害大気汚染物質等モニタリング調査結果」より抜粋)については、それぞれ

[1] 米国環境保護庁(EPA)発ガン性10-5リスク濃度

[2] WHO欧州地域事務局ガイドライン値(1996)

[3] WHO欧州地域事務局ガイドライン値(1996改定時にはリストにない物質)

[4] ジクロロメタンは24時間平均値、ホルムアルデヒドは30分平均値であり、これ以外のユニットリスクで示されない物質は年平均値を示す。

[5] クロム及びその化合物の欄の参考値は、六価クロム化合物としての発ガン性10-5リスク濃度である。

\* 表中の背景色が■になっている箇所は数値に相違がありましたので、平成14(2002)年1月9日に数値を訂正いたしました。